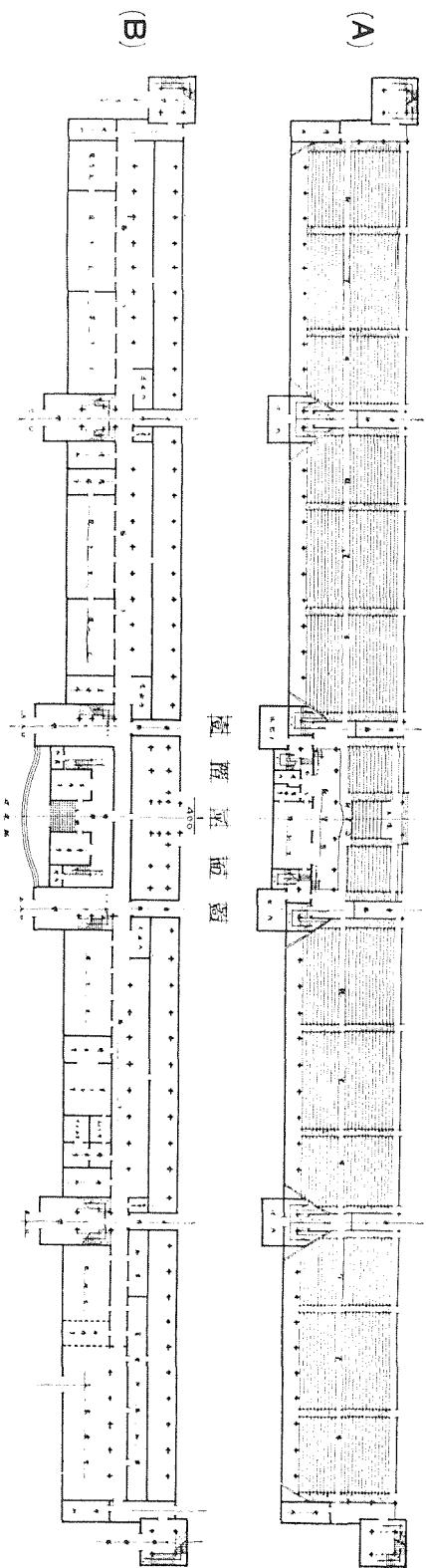


# 國立競技場座席圖



(5) (a) Plan of the Seating Arrangements in Pavilion. (b) Plan of the First Floor.

## 設計及監督

競技場は廣く諸外國に於ける實例に學理

體育専門家の意見を參照し、明治神宮造營局

に於て設計したものにして、質實剛健且つ  
外苑の雄偉豪闊なる風致と調和を保たしむる  
ことを本旨とし、建物の如きも中央部及特別

室に多少の裝飾を施したる外事ら實用を旨と  
して裝飾を省けり。

本工事の設計並監督に關係したる主なる技  
術者下の如し。

明治神宮造營局參與工學博士 佐野利器

明治神宮造營局  
同  
技師 小林政一  
技師 角南 隆

明治神宮造營局  
同  
工費豫算  
工事費總額  
内 譯

工事經過

敷地一帶の土工及び傾斜地造成工事は大正八年二月着手、同九年九月之を完了し引續き

建築工事に着手せんこしたるに當時物價勞銀  
引き續き暴騰を重ねたる爲め豫定經費を以てし

ては既定計畫を完成し能はざるに至りたるを  
以て一時工事の進行を停めたり。

然るに大正十年に入り物價幾分低落の傾向  
を示すに至りたるを以て、再び工事を進むる  
こゝ、こし同四月基礎工事に着手翌年十一月  
之を完了し、續いて上部鐵筋コンクリート工

事に着手、大正十二年五月之を完了し、直ちに室内仕上工事及設備工事等に移り、昨年十月之を完了す。

又ランニングトラック及其他附帶工事(は昨年五月着手し同十月之を完了せり)。

工事方法は材料官給、手間請負を原則した。即ち砂利は本局相模川直營採取所より採取し、又セメント約一萬二千噸(は浅野セメント株式會社より)、鋼材約五百三十噸(は八幡製鐵所より)、何れも廉價供給を受け其他一般使用材料に就きては殆ど總て地方原産地に於て買入れ、是等の材料は何れも鐵道、汽船運賃半減の便宜を得て之を工事請負人に供給したるを以て、一般世上の工事に比し特に低廉なる工費を以て工事を完成することを得たるは特筆すべき所す。

本工事に使用せる諸職工延人員は合計約拾萬人にして、主要工事の請負人左の如し。  
工事名 諸業者  
一、敷地造成工事 戸田利兵衛  
一、基礎工事 合資會社清水組

### 一、上部鍛筋コンクリート工事

株式會社大林組

### 西側スタンド内主要室表

建坪 一、二三七坪  
東 西 一〇間 南 北 一二八間  
軒 高 三七尺 塔 高 六〇尺

### (一) 一階の部

室名	坪数	室名	坪数	室名	坪数	室名	坪数
中央部廣間	1 28.33	事務室	1 9.27	料理室	1 9.27	浴室	2 194.67 (内一部新聞記者室)
配膳室	1 9.27	料理室	1 27.81				
選豫室	1 18.54	女子浴室	1 9.27	男子浴室	1 27.81		
便所	5 36.80						
洗面所	3 18.85						
塔	2 32.00						

工事名 諸業者  
一、敷地造成工事 戸田利兵衛  
一、基礎工事 合資會社清水組

外に中廊下側に充つる場所三箇所、

合計 九九坪三六

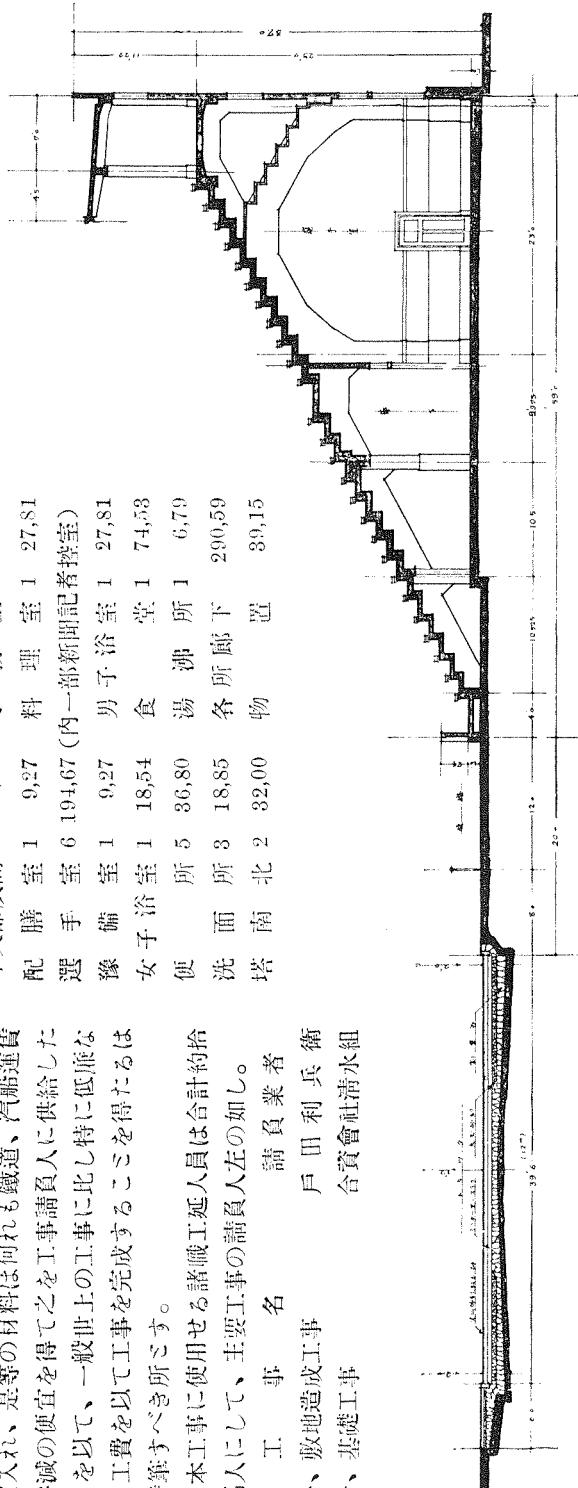
### (二) 二階の部

室名	坪数	室名	坪数	室名	坪数
特別觀覽席	1 23.83	中央部鐵瓶室	1 3.20	別室	1 8.66
塔	南 北 2 32.00				
				便所	6 8.96

### (三) 最上階の部

室名	坪数	室名	坪数	室名	坪数
休憩室	2 17.92	塔	南 北		

合計 32.00



(6) 神宮競技場断面圖

(6) Cross Section of Running Track and Pavilion.